



参議院議員

後藤ひとし

現場の声を 政策へ

新しい春を迎え、心新たに。
国民の皆様、日本の未来、そして山梨のために
責任ある政治に全力で取り組んでまいります。

法案提出

- 18歳の壁撤廃法案
- 年少扶養控除復活法案
- 障がいのある児童への支援金の所得制限撤廃法案

子育て支援の断絶をなくし、
家計を支える仕組みを整えます。



予算委員会 集中審議

エネルギー政策、レアアース、花粉症対策について
質疑を行いました。

- 安定的なエネルギー供給の在り方
- 重要め鉱物であるレアアースの確保
- 国民生活に直結する花粉症対策

について、政府の取り組みと課題を問いました。



後藤 斎 略歴

1957年 山梨県生まれ / 東北大学経済学部卒
農林水産省にて食料・農業・国際交渉に従事
衆議院議員（4期）文科政務官・内閣府副大臣を歴任
山梨県知事（2015～2019年） / 参議院議員

SNSで情報発信中！



国会で問い、現場から政策へ

国会質疑と現場での対話を通じて具体的な前進へ。
人口減少、地域交通、インフラ整備など、暮らしに直結する課題に向き合い、
現場の声を政策へつなげる取り組みを進めています。

党大会で示した、進むべき道。

現場を踏まえた政治の姿勢を、明確に発信。



第6回国民民主党党大会が東京・虎ノ門で開催されました。
第2部では「新人議員の皆様へ」として、「風林火山」の言葉をお伝えしました。
新人議員にも責任と覚悟が求められることを訴え、国民のための政治をともに築く決意を共有しました。

地域交通の危機を現場で確認。

持続可能な移動の仕組みを考える。



相模原市を視察し、路線バス廃止の背景にある運転手不足の実態を確認しました。
地域の足をどう守るのか、持続可能な交通の仕組みづくりについて議論を進めています。

視察

地域交通

人口減少時代の行政を問う。

国と地方の役割分担を改めて問い直す。



本文
少子高齢化・人口減少が進む中、国と地方の役割分担や行政の在り方について質疑を行いました。
「三位一体改革」の検証も踏まえ、消滅可能性自治体が増える現状を指摘し、今後の在り方を提起しました。

行政監視委員会

地方行政

地域の未来を支える交通網へ。

整備の見通しを明確に求める。



リニア中央新幹線および中部横断自動車道について質問しました。
地域が将来を見通せるよう、具体的な整備スケジュールの提示を求め、早期に見通しを示すよう努力するとの答弁を得ました。
引き続き、地域の発展につながるインフラ整備を前に進めてまいります。

国土交通委員会

インフラ

国会質疑に加え、地元活動や部会での議論を重ね、現場の課題を具体的な政策へとつなげています。